

合併処理浄化槽を設置しませんか？

浜頓別町では、平成11年度から『浜頓別町みな下水道事業』として、浜頓別町合併処理浄化槽整備事業をおこなっています。

水洗化により快適な生活をおくり、自然環境を保全するために、『合併処理浄化槽』を設置しませんか？

■対象となる地区は？

斜内、豊寒別、栄和、智福、安別、共和、ポン仁達内、仁達内、戸出、金ヶ丘、楓、常盤、宇曾丹、高砂、茂宇津内、宇津内の各地区です。
(公共下水道、農業集落排水の該当にならない世帯)

■合併処理浄化槽とは？

し尿(水洗トイレ)と生活雑排水(台所、洗濯、風呂、洗面、掃除雑用)を合わせて処理する浄化槽です。(し尿を処理する水洗トイレだけの「単独浄化槽」を、「合併処理浄化槽」に改良する場合も、補助を受けられます。)

■合併処理浄化槽の設置工事費に対する補助金を交付します

平成11年度から平成20年度まで150基を目標に事業を実施します。

※トイレ水洗化のための住宅改造工事費が別途必要です。(水洗化工事費40〜50万円。貸付金制度があります。)

※総工事費は5人槽で約180万円になります。

■補助金額一覧表

区分	予定工事費	補助金額	自己負担金額
5人槽	1,300,000円	800,000円	500,000円
7人槽	1,500,000円	1,000,000円	500,000円
10人槽	2,000,000円	1,500,000円	500,000円

※工事費は概算ですので、設置場所等により異なる場合があります。

※自己負担額には、貸付制度があります。

ります。(浄化槽予定工事費130万円+トイレ水洗化工事費50万円)
※補助の対象となるのは、個人の専用住宅または、個人の店舗併用住宅で10人槽以下の合併処理浄化槽を設置しようとする者。



■合併処理浄化槽の設置工事資金を貸付けします

- ・町内の金融機関を通じ工事資金貸付けの斡旋をし、貸付けにかかる利息は町が負担します。
- ・貸付け限度額は、1基45万円です。
- ・資金の貸付けを受けないで設置する場合は、1基4万5千円を補助します。

■水洗化工事の住宅改造資金を貸付けします

- ・町内の金融機関を通じ工事資金貸付けの斡旋をし、貸付けにかかる利息は町が負担します。
- ・貸付け限度額は、1基45万円です。(新築住宅は対象外となります。)
- ・資金の貸付けを受けないで設置する場合は、1基4万5千円を補助します。

■設置後の保守点検及び法定検査等の維持管理費

【5人槽の1年間の経費】
 ・保守点検料：1万5千円(年3回の合計点検料)
 ・清掃料：1万3千円(必要時)
 ・汚泥採取料：2万円
 ・薬剤費：1万円
 ・定期検査料：8千円(年1回)
 ※設置後の水質検査は初回のみ1万3千円(5人槽の場合)
 ※保守点検のうち、毎年1万円を町が補助(合併処理浄化槽管理組合を通じて)します。

■合併処理浄化槽工事指定業者

(有)武田燃料 ☎2-2125
 (株)天照建設 ☎2-2873
 岡本興業(株) ☎2-3611
 ※申請により随時追加となります。

■合併処理浄化槽保守点検指定業者

(有)吉野衛生 ☎2-3417
 (株)テクノス北海道 ☎2-2827
 ※申請により随時追加となります。

合併処理浄化槽及び補助制度についてのお問い合わせは、住民課環境生活係まで。

☎2-2345(内線112)



ゆい が
鈴江 唯夏ちゃん
平成 14年 7月 17日 生まれ
父～雅敏さん
母～直美さん
住所～南3条2丁目

父から

健康で明るい女の子になってね。

母から

お兄ちゃん達が大好きな唯夏。これからもずっと仲良しでいてね。そして、健康でいつも笑顔の優しい女の子になってね！



すず が
青木 涼花ちゃん
平成 14年 7月 17日 生まれ
父～博幸さん
母～保子さん
住所～緑ヶ丘6丁目

父から

パパのお嫁さんになってね。

母から

明るく、やさしく、活発な女の子になってね。

姉から

早く大きくなって一緒に遊ぼうね。



浜頓別町郷土資料館からみる
郷土のあしあと

年末の餅つきに大活躍 白（うす）

白は用途によって種々あるが、機能から大別すると搗き白と磨り白とがある。

搗き白には餅搗き白、粉をはたく立白、米を精米する米搗き白、穀物を脱穀する踏み白などである。

磨り白には石臼、米を脱穀する木ざるす、土臼、お茶を挽く茶臼などである。

中で最も古いのは、脱穀から製粉まで行った立白で、アイヌ民族が使用する白もこれである。また、本州から北海道へ伝承されなかったのが木ざるすで、その原因はおそらく稲作の定着した時期が遅かったせいと思われる。

写真（左下）の白は餅搗き白である。餅搗きは縁起を担いで4、9日をさけ、12月27日か28日頃に朝早くから一家総出でおこなう年中行事であった。

しかし近年では餅を買ったり、餅搗き機械が普及し、餅搗き風景があまり見られなくなった。また、白をつくるほどの大木がなくなっただのも残念なことである。



▲町内の幼稚園や保育所では年末の餅つきは恒例行事



▲郷土資料館に展示している白と杵